

## 社会責任監査

### お客様の課題

現在のグローバル社会では、グループ会社のオペレーションが品質・環境・労働安全衛生・社会説明責任の観点で問題が無いことを証明するだけでは不十分で、サプライチェーン全体で取り組む必要が出てきました。

1990年代は、スポーツ用品や衣料に従事する児童労働が注目されましたが、次第に広がり2006～2007年には電子電機業界や製薬業界でそれぞれEICC、PSCIと言った業界のイニシアティブが生まれ、業界独自の行動規範を作成して今日に至ります。

英国では現代奴隷法が施行され、サプライチェーンの中で強制労働が無いことを確認したり、組織に強制労働をしない配慮をする方針を求めています。

業界の行動規範の広がりや、第三者監査の結果をデータベースに登録し、取引のある会社がある結果を共有することで、重複した監査を避けることができること、業界でベストプラクティスを共有し課題を特定し、会社は対策に重点を置くこと、業界で取り組むことで全体のレベルをあげることなどが共通の目的です。

環境・労働安全衛生の遵法は最低限の義務であり、業界の行動規範に適合することを投資家が注目しており、評価の結果、インデックスの対象から除外されると株価にも影響があります。会社が遵法の評価の仕組みを持つことや、児童労働や強制労働を行わない方針を持つこと、それが運用されているかをモニタリングし社内外の目で評価すること、問題点や課題に対しては正処置や対策を打つこと、その進捗状況を開示し報告することなど、多くの局面で今までより強化された活動が必要になってきます。

多くの国や地域にまたがるサプライチェーンで、問題が無いことを証明することは難しいですが、持続可能な成長のためには避けては通れない道だと言えます。

### ソリューション

SA8000、業界の行動規範に基づき、監査を実施します。

ビューロー・ベリタスはRBA（電子電機）、PSCI（製薬）、SEDEX（食品、小売等）、SA8000など多くの承認、認定を受けており、85カ国以上で監査を実施しています。

多くの監査項目、監査頻度、レポートの評価など会社独自のスキームを提案できます。

### お客様のメリット

- 取引条件になりつつある環境、労働、労働安全衛生、倫理、マネジメントの適合性を証明できます。
- 会社がサプライチェーン全体の取組みと同調して運用していることを証明できます。
- 経営品質や持続可能性を高めることに繋がります。